

科目名	運動方法学演習 8 (剣道)					開講 キャンパス	神 埼
担当者	池 田 孝 博						
開講年次	1	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	当初のオリエンテーションで学生の経験および技能レベルを確認し、それに応じて学習する「わざ」の内容を設定する。授業の前半は剣道具を装着せず、木刀の操作方法を説明し、基本技術・対人技のパターンを解説する。後半は竹刀・剣道具による打ちこみ稽古法で着装の方法や打突動作を紹介する。授業のまとめとして、試合ルールと審判法について説明する。						
授業の 到達目標	①知識・理解 ・剣道に関する基本的な専門用語・ルールを理解している。 ・構えや基本動作を言葉で説明できる。 ②思考・判断 ・技の成否を評価・判定することができる。 ③関心・意欲 ・自分の特性を生かして、技を高めていく。 ④態度 ・剣道の伝統的な所作によって行動できる。 ・練習や試合の相手に対する礼法を示すことができる。 ⑤技能 ・構えを正しく行える。 ・適切な足捌きを選択して、移動動作が行える。 ・決められた部位を的確に捉える竹刀・木刀の操作ができる。 ・ルールに則って簡易な試合や審判ができる。						
学習方法	実技						
テキスト及 び参考書等	特に指定しない。内容に応じて、授業の中で紹介する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎					30	
授業態度			○			10	
受講者の発表							
授業への参加度			○			10	
その他		○		◎		50	
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	オリエンテーション, 学校教育における剣道に関する基本的理解						
第 2 週	木刀による剣道基本技稽古法 1 基本 1, 2 (1本打ちの技, 連続技)						
第 3 週	木刀による剣道基本技稽古法 2 基本 3, 4 (払い技・引き技)						
第 4 週	木刀による剣道基本技稽古法 3 基本 5, 6 (抜き技・すりあげ技)						
第 5 週	木刀による剣道基本技稽古法 4 基本 7 (出ばな技)						
第 6 週	木刀による剣道基本技稽古法 5 基本 8 (返し技)						
第 7 週	木刀による剣道基本技稽古法 6 基本 9 (打ち落とし技)						
第 8 週	木刀による剣道基本技稽古法 7 基本 1~9のまとめ, 剣道具の着装						
第 9 週	竹刀・剣道具による打ちこみ稽古法 1 しかけ技						
第 10 週	竹刀・剣道具による打ちこみ稽古法 2 応じ技						
第 11 週	竹刀・剣道具による打ちこみ稽古法 3 打ちこみ稽古, 掛り稽古						
第 12 週	竹刀・剣道具による打ちこみ稽古法 4 地稽古						
第 13 週	剣道の試合方法						
第 14 週	剣道の審判方法 有効打突の判定						
第 15 週	剣道の試合と審判						
第 16 週							
備考							